

本学の教員養成に係る教育の質の向上に係る取組について

本学では、2018年度より、元高等学校教諭（工業）で大阪府立高校の校長を務めた経験を持つ山田啓次教授の指導のもと、教員を目指す学生に対し、教職教育センターとして以下のような取組を行っています。

1. 工業免許取得希望者に対する工業技術の指導

将来工業の教員を目指している学生（希望者）を対象に、週1回程度、クリエイトセンター等でモノづくり技術の指導を行っています。

2. 教職ゼミ

将来教員就職を希望する有志の学生を対象に、2022年度より、奈良県野迫川村にある廃校（旧野川中学校）を利用した、教職ゼミを開講しています。内容としては、木造校舎のリノベーションを通じた、教育現場で活かせる野外活動やモノづくり技術の習得、教員採用試験対策を目的とした合宿等となっています。

グループワークやフィールドワークを通じた実践力の養成のみならず、学年や学科を超えて交流を図ることで、教員採用試験合格へのモチベーションアップを目指しています。

3. 教育ボランティア

地元の大東市教育委員会と連携を取り、有志の学生が教育ボランティアとして、週1回、児童生徒の学習支援や相談対応を行っています。加えて、定期的実施される児童生徒を対象としたモノづくりのイベントやプログラミング出張講義等に、有志の学生がボランティアとして参加し、補助を行っています。

児童生徒とふれ合う中で教育現場の実状を知ることは、教員を希望する学生にとって大変有意義であり、教職意識も向上するものです。今後も教育委員会や小中高等学校との連携をさらに深め、質の向上及び活動の拡大を予定しています。

4. 教育現場（学校）見学会

教員希望者が実際の学校現場の知見を深めるため、年3回程度の学校見学会を実施しています。特に工業高校や定時制高校など、多様な教育現場を見学する機会を提供しています。

5. 教員採用試験対策

教員採用試験受験者への支援として、教職教育センターによる筆記・面接試験対策講座の実施、キャリアセンターによる面接試験対策講座を実施等、体系的な指導機会の提供を行っています。

また、教員採用試験の一次試験（筆記試験）を合格した学生を対象として、学校管理職経験者あるいは教職教育センター教員による面接試験の対策を実施しています。

6. 教育実習事前指導および教育実習参加への制限

教育実習事前指導科目である「教育実習1」を履修するためには、前年度終了時点において、総修得単位数（卒業要件外教職科目を含む）が、原則として90単位以上であることを条件としています。

また、教育実習を行おうとする者には、卒業見込みの者であるとともに、「教育実習1」を履修している者で、原則として、「教科及び教科の指導法に関する科目」のうち「各教科の指導法に関する科目」ならびに、「教育の基礎的理解に関する科目等」のうち「教育の基礎的理解に関する科目」および「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目」について、配当された科目の単位をすべて修得し終えており、かつ、卒業時に教員免許状を取得できる見込みの者でなければならないとしています。

また、独自で次のような取組を行っている学科もあります。

国際学部 国際学科

1. 教育実習事前指導科目履修への学科独自の制限

教育実習事前指導科目「教育実習1」を履修するにあたり、中学校教諭一種免許状・英語および高等学校教諭一種免許状・英語取得希望者には、前年度終了時総修得単位数90単位以上の条件に加え、下記のいずれかの取得を条件としています。

- ・ 実用英語技能検定（英検） 2級以上
- ・ TOEFL iBT 42以上 ・ IELTS 4.0以上
- ・ TOEIC L&R / S&W 1150以上 ・ TOEIC L&R 700以上

デザイン工学部 環境理工学科

教職カリキュラム（実験系、理科教育関連、専門科目、教職科目など）を担当する教員数名で“教職プロジェクト”を組織しています。教職教育センターの教員とも連携をはかり、必要に応じて本プロジェクトのミーティングに参加してもらうなど、ソフト、ハード両面から学生を支援する体制をとっています。

1. 理科教育パワーアップセミナー（PUS）教職特訓講座

理科教育パワーアップセミナー（PUS）教職特訓講座を年2回開講しています。教員採用試験対策の要点を現職・元職の高等学校教員より学び、学生が継続して自主ゼミによる自学自習体制づくりに繋げることを目指しています。

2. 系列校との連携

系列校である大阪桐蔭中学・高校生と連携し、理科に関する活動を行っています。近年では、大阪桐蔭中高と本学科生が「実験教室フェスタ in 大東」において地域の小学生を対象に実験教室や実験ブース展示を行っています。今後も、系列校間の様々な連携（科学の祭典への共同出展、理科研究部・ロケット研究部との連携）を推進し、教員を目指す本学科生が中高生と関わりながら協働して取り組める機会を提供する予定です。

3. 人間力向上に向けた取組

2018年より、西日本最大の科学の祭典大阪大会及び和歌山、奈良大会に出展し、本学科生が、実験・演示教材製作・展示試料採取から当日の来場者への説明まで、科学の面白さを伝える取組をサポートしています。

以上

(2023年8月30日現在)